

脳卒中相談窓口報告書 Q&A

◆脳卒中相談窓口について

Q1. 国のモデル事業である脳卒中・心臓病等総合支援センターでも「相談支援窓口」の設置を予定している。今後、「脳卒中相談窓口」を含有し、名称を「相談支援窓口」としてもPSCコアの設置要件から逸脱しないか？

A1. 逸脱しません。

◆脳卒中相談窓口の構成員について

Q2. 脳卒中療養相談士の資格は、今後、毎年受講が必要か？

A2. 脳卒中療養相談士の受講証の有効期限は次年度の講習会までとなります。各年度のSTROKEで開催される講習会（オンデマンドを含む）を受講してください。

◆脳卒中相談窓口の資料について

Q3. DVDと同じ映像をどこかでダウンロードすることは可能か？

A3. 日本脳卒中学会のホームページからダウンロードできます。

◎日本脳卒中学会 HP→「脳卒中の予防、治療、退院後の対応について」参照

URL； <https://www.jsts.gr.jp/common/response.html>

◆脳卒中相談窓口での情報提供・相談支援の実績について

Q4. 実際の患者やご家族への対応は、当該病棟や面談室など脳卒中窓口以外の場所でおこなっていることが多いが、報告書は「脳卒中相談窓口の看板が掲げられている場所での対応」のみでなく、各病棟などでそれぞれの構成員が行った対応を報告するでよいか？

A4. その通りです。

Q5. 脳卒中療養相談士の人員が限られており実質的には脳卒中療養相談士の資格保有者以外のスタッフが情報提供や支援、動画利用を行わざるを得ない事も多いが、この場合も実績としてカウントしてよいか。

A5. 実績としてカウント可ですが、脳卒中療養相談士がすべての相談内容を把握できるようにして下さい。また、相談を受ける方はできるだけSTROKEでの講習会に参加し、資格を取得してください。

Q6. 脳卒中相談窓口での情報提供・相談支援の実績について、患者実数まではカウントできていない。どのようにすればよいか？

A6. 「少なくとも**件以上は対応している」の**を入力してください。

Q7. 患者の家族にも面接対応を行った場合、区別して対応回数をカウントするのか？

A7. 患者と家族と同時に対応した場合は1カウント、別々に対応した場合は2カウントとしてください。

Q8. 患者や家族からの相談ではなく、こちらから自発的に関わるケースもカウントするのか？

A8. カウントしてください。

Q9. ①～⑫の項目について、独自のルールを決めてカウントを行ってもよいか？

(例; ①の項目については、脳卒中連携パスのオーバービューを用いて説明したらカウント)

A9. 脳卒中相談窓口マニュアルを参考に、各施設のルールでカウントしてください。

Q10. 同一患者、同一日時での相談対応でも脳卒中相談窓口マニュアルの目次番号に従って、分けてカウントするのか？

例えば、同一患者が同一日時に、脳卒中相談窓口マニュアルの5-5、5-7、5-8、5-13について対応した場合、対応回数合計は4回になるのか？

また、同一患者で別の日時に脳卒中相談窓口マニュアルの7、6-1、5-14について対応したら、さらに1回の対応回数としてカウントするのか？

A10. どのようなニーズがあるかを集計する目的があるので、各相談内容ごとにカウントしてください。

Q11. 報告相談内容が詳細で、しかも多職種で指導することになると統計のとりかたが非常に難しい。どのようにしたら効率よく統計がとれるか？

A11. 各施設で工夫してカウントしていただいているのが現状です。ソフトやアプリなどこの事業に特化したものはないので、脳卒中相談窓口用のデータベースを構築するシステムを各施設で整えることが必要と考えます。相談を受ける度に、後から見直せる記録を残すことから始めてみてください。

Q12. 回復期病院転院のみの施設のため、自宅退院患者を対象としていない。①医療連携とは何を示すか？

A12. パスでなくても診療情報提供、医療機関の紹介などが該当します。

Q13. 「①医療連携・地域連携パス」にカウントするのは、地域連携パスを使用・説明した場合のみか？

A13. 「転院先・療養先の選定を支援」した場合もカウントしてください。

Q14. 「①医療連携・地域連携パス (5-5)」について、脳卒中マニュアル (5-5) では脳卒中パスを使っていることが前提での内容になっているが、脳卒中パスを使っていない場合はカウントできるのか？また退院支援加算はどのような対応になるのか？

A14. あくまでも患者支援が脳卒中相談窓口の目的ですので、脳卒中パスを使っていなくても相談支援をしていれば件数としてカウントして下さい。脳卒中相談窓口は日本脳卒中学会の事業ですので、退院支援加算とは関係ありません。

Q15. 医療連携(5-5)、疾患・服薬・食事管理(5-2、5-3、5-4)とは具体的に何を指すのか？

A15. 医療連携は、転院先や通院先の選定、地域の医療機関の紹介・情報提供、地域連携パスなどを、疾患管理は、治療やリスク管理に関する情報提供、指導、日常生活や服薬管理に関する指導などを指します。

Q16. 緩和ケアの支援の対象者はどのような方となるか指標や事例を教えてください。

A16. ACP、意思決定支援に関わることはすべて対象となります。また、日本脳卒中学会のホームページからダウンロードできる指針や提言もご参照ください。

Q17. 地域包括ケアセンターとの連携の項目に地域包括ケアセンター以外のケアマネとの連携を含めてよいか？

A17. 含めてください。

Q18. 自宅退院患者の在宅調整（訪問診療や訪問看護、訪問リハビリ、居宅介護などを導入支援）を行った場合は、何番を対象にカウントすれば良いか？

A18. ②介護、福祉、家族支援にカウントしてください。

◆患者向け動画利用件数について

Q19. 脳卒中療養相談士以外のスタッフが動画を見せたり、相談支援を行った場合もカウントしてよいか？

A19. カウントしてください。

Q20. 動画を見せた回数や、相談支援回数は、転院した患者さんに行った場合もカウント対象となるのか？

A20. カウントしてください。

Q21. 「患者向け動画利用件数（患者に紹介した件数）」とは「患者に動画を見せた件数」か？動画を紹介し、自宅や病室で見るよう紹介した件数も含めてよいか？

A21. 「動画を紹介し、自宅や病室で見るよう紹介した件数」も含めて構いません。

◆その他

Q22. この窓口業務に保険点数はつくか？

A22. 本事業は日本脳卒中学会の事業ですので保険点数はつきません。